



広報



市の木もくせい

FUSSA



平成21年(2009年)

10月1日 No. 792

発行/福生市 編集/企画財政部秘書広報課  
〒197-8501 福生市本町5  
☎042-551-1511 (市役所代表)  
毎月1日・15日発行

ホームページ <http://www.city.fussa.tokyo.jp/>

今号の主な記事

2面地上デジタル放送説明会 4面緊急雇用対策に関わる臨時職員募集 5面乳幼児から中学生までの医療費助成制度  
6面郷土資料室特別展示「松原庵の宗匠～星布と友昇の俳諧～」 7面輝け福生いきいき活動 8面図書館秋の読書週間イベント

**いきいきわくわく**

# 福生ふれあいフェスティバル

**日時** 10月25日(日)午前10時～午後4時(小雨決行)  
**場所** 市営福生野球場  
※車でのご来場はご遠慮ください。

健康増進を一緒に考える「第20回ふっさ健康まつり」、市内の産業の生産向上と経済振興を目的とした「第19回産業祭」、市民の文化活動の発表の場である「第39回市民文化祭」を合同で行なう「福生ふれあいフェスティバル」は、今年も盛りだくさんの内容で皆さんのお越しをお待ちしています。

第20回ふっさ健康まつり

★専門相談コーナー  
赤ちゃんからお年寄りまでの健康、育児、お口の健康、くすりからペットまで、専門スタッフによる相談が気軽に受けられます。

★体験コーナー  
初期消火体験、応急救護体験(AED等)、妊婦体験ジャケット、手作りおもちゃ、体脂肪測定、閉眼片足立ち、動物クイズ、アイマスク体験など、健康から趣味まで、普段できない体験など、あなたの暮らしに役立つことが必ずあります。

★情報・展示コーナー  
作品展示、各種調理器具、防犯情報、ミニ消防服、子育て支援等、知って得する情報などお教えします。

★身体測定機器が充実しました!  
保健センターが出展する各コーナーでは血圧、体脂肪のほか、脳年齢や血管年齢、血液中の酸素の量、足指力、噛む力などを測定することができます。皆さんの健康をさらに応援します。ぜひ、体験してください。

問合せ保健センター ☎552・0061



第19回産業祭

★一般商品・青果物などの即売コーナー  
★飲食コーナー  
★ごみ減量とリサイクル展  
★キャラクターショー「アンパンマン」  
①午前11時30分～正午②午後2時～2時30分(予定)  
★ピエロショー  
①午後1時～1時20分②午後2時45分～3時5分(予定)  
★ミニ遊園地  
ホエールスライダー(すべり台)、スワンプファミリー(ふわふわ)、ミニSL  
★その他  
マイカー点検教室、相談コーナー、親子で楽しめる体験コーナー等  
※内容が一部変更となる場合があります。予めご了承ください。  
問合せ商工会 ☎551・2927



第39回市民文化祭については、広報ふっさ10月15日号でお知らせします。

**SPコードを掲載しています!**  
目の不自由な方の情報ツールとして開発された二次元シンボル「SPコード」を、紙面に掲載しています。コードは専用の読取装置を使い、記録されている文字情報を音声で聞くことができます。  
毎月1日号の奇数面の記事をそれぞれ抜粋してコード化し、触って位置がわかるように半円状の切り込みを入れています。  
問合せ秘書広報課広報広聴係 ☎551・1568

お出かけ、お帰りの際はご注意ください!  
新型インフルエンザの感染予防に努めましょう

市内では、依然として新型インフルエンザの感染者が発生しています。これからの季節は、さらに感染が広がる可能性があります。皆さん一人ひとりが、感染予防に努めましょう。

1「手洗い」を励行しましょう!  
インフルエンザの予防のためには、手洗いの習慣をつけましょう。

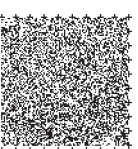
2咳などの症状がある方は「マスクの着用」を!  
咳やくしゃみをするときは、ティッシュやマスクを口と鼻にあて、「咳エチケット」を守りましょう。

3インフルエンザにかかったと思ったら…  
新型インフルエンザは一般の医療機関で受診できま

す。症状がある方は、事前に医療機関に電話で連絡し、受診の時間帯や受診方法等について指示を受けてから、必ずマスクを着用して受診してください。  
また、医療機関がわからない方や自宅療養に関する質問等は、次の相談センターにご相談ください。

**新型インフルエンザ相談センター**  
▶月～金曜日午前9時～午後5時  
西多摩保健所 ☎0428・22・6141  
▶月～金曜日午後5時～翌日午前9時と土・日曜・祝日  
☎0570・03・1203(固定・携帯・公衆電話の方)  
☎03・5977・5638(I P電話・P H Sの方)  
▶聴覚に障害のある方(24時間対応)  
相談票に必要事項を記入し、ファックスで東京都保健医療情報センター(ひまわり) ☎03・5285・8080へ。  
問合せ保健センター ☎552・0061

24人の市民レポーターが地域の魅力を取材・執筆し、福生が持ついろいろな顔を紹介しています。発行部数は24,000部ですので、多くの方にご覧いただき、福生の魅力をあらためて感じていただきたいと思います。



**全力投球**

福生の魅力をPR  
福生市長 加藤育男

抜けるような青空の下、第四小学校PTA加美地区委員会を中心に、二中PTA加美地区、青少年育成加美1・2地区委員会や加美大風会、加美遊友会などが実施している「マスのつかみ取り&流しうめん大会」に参加しました。  
福生市にとって貴重な自然資源である多摩川で、子どもたちがマスを取ろうと大はしゃぎしている姿を見ていて元気がわいてきました。また、地域の人々が協力して、子どもたちに楽しい思い出を作ってもらおうとしていることに心から敬意を表します。  
このような経験、取組みが福生をふるさととして愛する心をはぐくむことになるのだと深く感じたところです。  
当日、子どもたちと一緒に写真を撮りました。それは地域情報誌「多摩ら・び」福生特集(10月15日発行)に掲載される写真です。この情報誌は市が取り組んでいる商業の活性化や、まちづくりの取り組みの方向性を調べる調査に連携して、多摩信用金庫と協働して制作したものです。

マスのつかみ取り&流しうめん大会にて